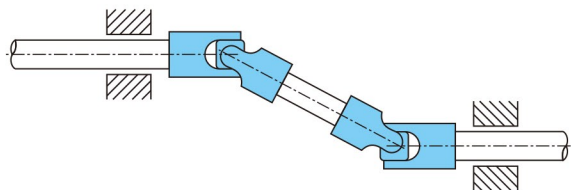


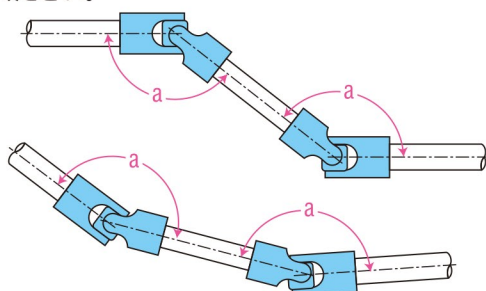
設計及び取付上の注意

駆動軸より従動軸へ常に一定の回転を伝達するには、次の条件をお守りください。

- ① 機械のビビリ等を防止するため、軸受けの位置はできる限り継手に接近して取付けてください。



- ② 駆動軸並びに、従動軸は常に同一平面上にあり、かつ中間軸に対し平行または対称の位置に取付けてください。



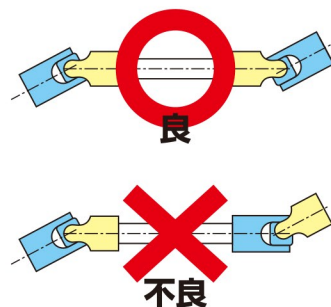
- ③ 取付けの際にはできる限り緊張荷重が加わらないように注意してください。

- ④ 断続的荷重がかかる場合や、あるいは逆転・反復などで使用する場合は、キー溝または4角孔、スプライン等を使用してください。

- ⑤ 急激な荷重や過度の荷重が加わる場合は、滑りクラッチ等を付けて衝撃を避けるようにしてください。

- ⑥ 屈折角度はなるべく少なくなるように設計してください。広角で高速回転することは好ましくありません。

- ⑦ 2個のジョイントを使用する場合には必ず内側にあるヨークの爪が、一線に並ぶようにして取付けてください。



- ⑧ 塵埃が沢山発生する場合、また注油しにくい場合にはジョイントカバーの使用をおすすめします。

※サンヨー製ユニバーサルジョイントの伸縮機能のある型式を使用頂く際、負荷トルクを掛けながらの伸縮は推奨しておりません。